

会員アンケート 自由記載コメントの結果報告

大変遅くなりましたが、昨夏に実施したアンケートでいただいた自由記載コメントの結果を報告します。調査時会員数 4,239 名中 511 名からの回答があり、回答率 12%でした。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

様々なご意見が寄せられ、新たな発見もあり、中には考えさせられる点もありました。掲載にあたりましては調査時と同じように、公益事業、ブロック活動、学術大会、新人教育プログラム、認定・専門理学療法士制度、その他の 6 つのカテゴリーに分けました。ご意見の全てに対応するのは難しいですが、ポイントを絞り役員からのコメントも併せて掲載しました。各事業への理解を深めていただけると幸いです。

今回いただいたご意見を参考に、皆さまに何かしらの利点を得られるよう、今後の事業運営に活用していきたいと思えます。しかし組織力を高め、更なる利点を得るためには皆さまの協力が不可欠です。協力といえども、事業への参加のみならず様々な形があると思えます。皆さま各々可能な形で構いませんので、これからも社団・NPO 共にご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 愛知県理学療法士会・特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会 役員一同

*ご意見・お問い合わせ等は apta.white@gmail.com へお願いします。(’13年6月末日まで)

愛知県理学療法士会が関わっている公益事業について (総数 52 件)

どんな公益事業に関わっているか知らない。よくわからない… 以下同様意見 19 件

会員の皆様に少しでも公益事業についての理解を深めていただけるような取り組みを考えていきたいと思えます。県士会白書や HP、広報誌などで事業活動を紹介しておりますので、是非、興味や関心を持っていただくと嬉しいです。

市民の保健・医療・福祉に寄与する目的で多くの公共事業を行うべきです… 以下同様意見 4 件
理学療法士協会としてももう少し専門を生かした関わり方もできるのでは… 以下同様意見 2 件

風船バレーボール大会開催やウェルフェアへの参加協力の他に、理学療法士の専門性を生かす活動として、スポーツ傷害予防講座の開催や高校野球連盟が主催する大会に出向き、選手のコンディショニングなどの調整に関わる事業等を積極的に展開しております。

積極的に実施し公益法人取得をしてほしい。他の団体との関係性を深める努力が必要かと思えます。
震災ボラなどの今後の発展、他県士会との協力、共同参画もあるといいと思えます。

公益社団法人取得に向けて定款等の改正準備を進めており、平成 26 年 4 月からの実施を目指しております。県医師会主催の勉強会等には、士会三役が参加しており、他団体との交流を深めるよう努力しております。震災関係の活動については、研修会が企画されていますのでご参加下さい。(災害対策委員会のお知らせをご覧下さい)

一般的にどんな活動に参加しているのかは分かりにくいと感じます。広報の仕方を検討していただき、公益性のある事業を行ってほしい… 以下同様意見 4 件

一般向けには年 1 回広報誌を発行しております。皆様の施設以外にも県内の自治体や関係施設に配付しております。先日、両法人の HP リニューアルを行いました。情報のアップにはできる限り迅速に対応するように努めます。

平日開催が多く、ボランティアの出席ができないことが多い… 以下同様意見 2 件
事業にかかわっているスタッフが毎回同じ事業もある… 以下同様意見 4 件
新卒スタッフ等の参加希望者が少ない様に思います… 以下同様意見 2 件
会員全体の意識が低いと思います… 以下同様意見 3 件

今後、公益社団法人の取得に向けて、ますます公益事業の取り組みが求められてきます。繰り返しになりますが、会員の皆様には少しでも公益事業についての理解を深めていただけるような取り組みを考えていきたいと思っております。ニュースや HP 上などで当日の運営スタッフの募集も行っておりますので、是非、一度ご参加下さい。昨年度から PT 協会の新人プログラムの履修項目の中に「社会貢献・士会活動」が単位として認められました。新人会員の皆様は是非ご参加下さい。

ブロック活動について (総数 68 件)

ブロック活動は概ね症例検討会、研修会・勉強会、懇親会を主に知識・技術の向上、地域内の連携を目的とした活動を進めております。今回、会員諸氏から頂いたブロック活動に関するご意見の中で、主なものを紹介しコメントさせていただきます。

何を行っているか分かりにくい… 以下同様意見 14 件
活動内容の伝達不足を感じます… 以下同様意見 5 件
情報提供を引き続き行って頂きたいです… 以下同様意見 2 件
メーリングリストにしてはどうでしょうか…

【事業内容不明】

活動内容が周知不足であるのご指摘がありました。問題の原因といたしましては周知方法にあらうかと推察されます。ブロックにおける事業は地域の特性や事情に応じて活動しております。そのためホームページや士会ニュースを使用した情報発信はあえて行っておりません。情報発信は案内文を各施設向けに郵送することが主な手段となっております。案内文は各施設代表者宛にお送りさせていただいておりますが、各会員にどこまで情報

が届いているかは疑問があります。施設内における情報共有が不十分な場合も考えられます。個人宛ですと郵送費や発送作業が膨大となり現状では困難であると考えております。施設宛のメールも検討いたしましたが、登録していただける施設が半数にも満たないのが現状であり、実用には至っておりません。施設内での情報伝達を今一度見直していただき、よき情報発信の方法に関しましてご意見を頂ければ幸いです。

なかなか参加することができず、申し訳ないと思っております・・・ 以下同様意見 8件

特定の病院しか参加していない気がします・・・ 以下同様意見 5件

業務日程の折り合いがつかず、参加不可能・・・ 以下同様意見 3件

できるだけ参加できるように配慮して頂きたいです・・・ 以下同様意見 2件

【参加者の偏り，少なさ】

多く寄せられたご意見といたしまして特定施設からの参加が多く、毎回同じような顔ぶれである点であります。この点につきましては、研修会や勉強会のテーマによるところがあるかもしれませんが、主な要因は施設ごとによる温度差と考えられます。ご意見の中には「施設内・社内の勉強会のほうが得るものが大きい」との内容もありましたが、会員個々の意識の違いが大きいのではと考えられます。一方、夜間診療業務ならびに365日稼働、さらに各施設での業務多忙化も見逃すことのできない要因と考えております。地域のニードや勤務状況などに留意し事業を計画していきたいと考えております。

新人の症例発表の貴重な機会となっており、とても有意義であると思います・・・ 以下同様意見 5件

急性期や回復期、生活期とそれぞれの特徴の中で協議会や連絡会などとして細分化しても良い・・・ 以下同様意見 3件

他病院、他施設との意見交流をすることができる・・・ 以下同様意見 2件

【内容工夫の必要性】

ブロックにおける事業発足以降、研修会・勉強会の内容におきまして、急性期や回復期を中心とした内容が主になっておりました。しかし、近年は維持期やクリニック、また介護・福祉分野での活動する会員が多くなってきております。幅広い分野における対応が必要となってきております。このような背景をふまえ事業内容を再考していきたいと考えております。

近隣施設との連携または人脈を広げられるような取り組みができると素晴らしい・・・ 以下同様意見 4件

もっと活発になるといいと思います・・・ 以下同様意見 6件

地域によって活動に差がある・・・ 以下同様意見 5件

各ブロックでの活動の特色がはっきりしないと感じる・・・

【地域連携不足】

これまでのブロック活動は理学療法士間の連携、情報共有などを主に進めてきましたが、寄せられた意見には医療従事者のみならず、介護保険領域やその他周辺職種との連携を模索する必要性についても提言がありました。また地域連携パスと連動するようなネットワーク作り、各施設における業務効率化に繋がるような活動を求める意見も寄せられており、これらについては士会活動のあり方やコンセプトなど明確にせねばならない課題と考えております。

【まとめ】

寄せられたご意見に対し、項目に整理しコメントさせていただきました。ブロック局における今後の課題といたしまして下記のように考えております。

- ① 症例検討会の複数開催化
- ② 研修会・勉強会内容の多様化
- ③ ブロック間連携の有り方
- ④ 情報発信手段

①につきましてはブロック内の更なる細分化，ならびに症例検討会の簡素化を図りたいと思います。②では多様に渉る分野での理学療法士の活躍を目指すためには必要不可欠と考えております。また、技術向上に繋がる実技講習開催につきましては時間や場所等の問題がありますが考慮されるべき内容です。③におきましては、近年シームレスケアが叫ばれる中、連携強化は各施設最重要要件で理学療法士の職能団体として再考を要します。④につきましては、これまでもIT機器を利用した手段の模索はされてきましたが、足並みが揃わなく頓挫した状態です。しかしながら会員諸氏のご協力もいただきまして効率的な方法の構築を急ぐ必要があると考えております。

今回は大変貴重なご意見をお寄せいただき、誠に感謝しております。愛知県士会における理学療法士の環境は拡大化、多様化が急速に進んでおります。そのような状況の中、地域における連携や質の向上を図っていくことは今後さらに重要になってまいります。会員諸氏のご協力をいただきながら、地域の事情に合った活動を展開してまいりたいと考えております。今後とも積極的な参加を賜りますよう、お願い申し上げます。

愛知県理学療法学会について

(総数 49 件)

全国レベルの学会大会に参加できるよう、若いPTをみんなで育て上げるような機能を持つべきです…

東海北陸学会よりも、まとまりがあって、発表内容も良いと感じます…

発表会的な印象がある…

若手PTの発表に場であるので、積極的に参加してほしい…

演題数も増えていきますし、充実してきていると思います…以下同様意見 3件

若手の発表が多いため仕方ないが、質問や意見などがなかなか出にくいものが多い…

マイナス面ばかりを指摘する陰湿な質疑応答はあまり望ましくない… 以下同様意見 2件

会員数は増えているが参加者が頭打ちになってきている… 以下同様意見 2件

「研究ごっこ」をして、自己満足に浸っているような印象を受ける…

発表しやすい環境を維持するべき…

自分の仕事を振り返る良い機会だと思う…

口述発表なのに、ありきたりな一症例が多い…

発表者も、病院からの業務命令や履修ポイント取得目的のためだけに発表しているようなものが多く…

県内の学会規模であれば、ぜひとも勉強嫌いな会員にも参加してもらいたいです… 以下同様意見 2件

県全体の理学療法士のスキルアップのため、より魅力的な講演・研究発表が増えることを期待している…

経済学的内容や組織論やシステム論、リーダー論などの領域もカバーするような学会大会に発展してほしい…

経験豊富なPTの特別講演やシンポジウムなどは興味を持てるものもある…

次頁へ続く→

トピックスなどで、何かに特化した病院の取り組み等が聞けると嬉しいです…
一般市民に開放するのなら、もっと「理学療法士」「リハビリテーション」についての公演を企画したら啓蒙活動につながるのではないかと…

＜愛知県理学療法学会大会の役割＞

愛知県理学療法学会大会は新人の方々の教育的な学会大会と位置づけております。数年前から査読制度を取り入れましたがその方針としては演題数を絞り込むための査読ではなく、教育的なものであり、不備があれば修正を求め、修正されれば、発表していただくといったものです。内容に関する議論はぜひとも学会大会の場で行っていただきたいと考えております。

＜学会大会での議論の在り方＞

学会大会の場は誰もが自由に意見できる場であり、議論をすべき場です。いろいろな方々がいるのですから、いろいろな意見があっても当然です。学会大会といった公の場でぜひともこうした意見がでてくることを期待しております。

学会大会の場での活発な議論が発表内容を高める最大の効果があると思います。何が「ごっこ」になっているのかを学会大会の場でしっかりと指摘することがその改善につながると考えます。こうしたことで、学会大会の質を高めることにつながると思いますので、よろしく願いいたします。

学会大会で発表される方は、そのために大変な努力をされて発表に臨んでおります。きっかけは上司からの命令かもしれませんが、研究のテーマを捜し、それを解決していく経験は大切なことであると思います。学会大会は聞くものでなく、発表し、議論する場であると思います。受動的な態度でなく、能動的態度で参加していただきたいと思っております。

新人教育プログラムについて (総数 98 件)

制度の理解が難しい… 以下同様意見 18 件

制度の変更が多々行われ、戸惑います… 以下同様意見 9 件

最短、一年で終了出来るようになったのはとてもいい… 以下同様意見 5 件

もう少しわかりやすく案内してください… 以下同様意見 4 件

H22 年度より新人教育プログラム開始し始めた人は結局 3 年かかることになり不公平… 以下同様意見 2 件

受講カリキュラムが年をまたいで変わると受講システムが分かりにくくなる… 以下同様意見 2 件

1. 制度についての回答

新システムについての理解があまりされていない現状が浮き彫りになりました。このシステムは協会主導で動いており、変更などは、協会ニュースや協会 HP でも逐次連絡されております。また、定期的にマイページを見る習慣を付けてください。

内容に魅力を感じない… 以下同様意見 8件

新人にとってもっと意味のあるものにしてほしい… 以下同様意見 3件

より臨床に即した内容を増やしても良いと思う… 以下同様意見 3件

理学療法士としての心構え等が必要と感ずます… 以下同様意見 3件

講師に魅力がない… 以下同様意見 2件

大学の講義の延長であるような内容であった、組織論などの教育も加えると良い、
(経験を積んだ後) 今あな話を聞きたいなあと思うことができました…

2. プログラム内容および講師についての回答

プログラムの内容や講師に関するご意見を多数いただきました。講義は協会からの標準資料に基づいて行っています。これにより、全国どこでも同じ内容の講義を受けることができます。協会 HP の研修会案内に全国の研修会の予定が掲載されていますので、都合が合えば、他士会での受講も視野に入れて検討ください。講師のほとんどは生涯学習部員であり、その分野に精通した講師を選出しております。

名古屋ばかりでなく、他の地域でもやってほしい… 以下同様意見 4件

3. 開催場所についての回答

名古屋市以外での開催を望む声が多くありました。昨年度より、必須単位に関しては、三河地区での開催を始めました。次年度以降も検討していきます。

日程の公表が遅い、早くスケジュールを出して欲しい… 以下同様意見 6件

都合で参加できない場合、翌年まで待たないといけない… 以下同様意見 6件

日曜日の勤務も増えてきていますので、研修会の日程についても工夫が必要… 以下同様意見 4件

同じプログラム内容で一年に何回か実施して頂きたい… 以下同様意見 3件

4. 日程についての回答

(1) 年間スケジュールを早く決めて欲しいとの意見がありますが、主に使用している名古屋市のホールの予約が4ヶ月前からとなっております。年間スケジュールではなく、その都度予定を発表していく形式を取りたいと思います。また、日曜日以外の開催は現在の所、運営側や会場の関係で実施は困難な状況です。

(2) 1年で修了出来るように、1年間で数回研修会を行って欲しいとのご意見をいただきました。昨年度から、必須単位については年2回(名古屋、岡崎)行っていますし、選択単位については、新プロ研修会以外でも、愛知県士会主催で行われる研究会や講習会ではそのテーマに沿って単位として読み替えています。積極的に参加下さい。

必要性を感じる議題が少ない、どれくらい必要があるのかわからないです… 以下同様意見 4件

プログラム修了のために仕方なく参加している人がほとんどだと思う… 以下同様意見 2件

終えたメリットが実感としてない、変わっていく知見に対する勉強はどうしたらいいのでしょうか、
これから受けても遅くないのかどうか悩みます…

5. 新人教育プログラムの必要性についての回答

新人教育プログラムは新人 PT として最低限必要な知識や倫理的な理解を推進するための初歩的な学習の機会です。是非有効に活用して頂きたいと思います。新プロを修了したからといって学習が終わることはありません。“生涯学習”をお願いします。

理学療法士の質の低下が問題となっている現在では、より基準を厳しくしなければいけない…以下同様意見 4 件
学会参加や発表、ブロックでの勉強会での発表などを重視していく考えには賛成… 以下同様意見 2 件
受講生の態度が悪い… 以下同様意見 2 件
自己研鑽していかないと仕事がしにくくなるような教育システムが望ましい…
履修状況が確認しにくいです、もう少し何らかの対応処置があっても良かったのではないのでしょうか…

6. その他

それ以外にも、貴重なご意見や感想を頂きました。ありがとうございました。新プロ制度（内容も含めて）は5年に1回、その時の社会情勢を踏まえて更新されます。今回の更新は包括的会員管理システムの導入と同時に行われたため、様々なトラブルが生じ会員の皆様にご迷惑をお掛けしたことも事実です。新プロを修了し、一定レベルに達した学術集団の一員として患者様の前に立てるように、生涯学習部としてバックアップしていきます。

認定・専門理学療法士制度について (総数 113 件)

わかりにくい… 以下同様意見 36 件
取得までの流れ、条件等がホームページを見ても分かりにくい… 以下同様意見 15 件
制度の内容をまとめて更新（一新）して公開すべきだ… 以下同様意見 7 件
制度が変わりすぎてわかりにくい！、制度が複雑になったような気がする… 以下同様意見 7 件
取得意欲がわからない… 以下同様意見 7 件
どういった場面でこの制度が活用できるのか、実際業務の中でイメージができていない… 以下同様意見 5 件
制度を設ける目標がよく見えません… 以下同様意見 4 件
実際に専門領域でどんな活動をするのか？あるいはしているのかが分からない… 以下同様意見 2 件
制度の説明を聞く機会がない…

1. 制度についての回答

制度が分かりにくいというご意見が多く寄せられています。制度が始まったばかりで分かりにくい点が多いかと思えます。分かりにくい点は、県士会として協会に改善を要望していきます。また、「専門・認定理学療法士取得相談会」などを開催していき、制度を分かりやすく伝えられるように努力していきます。

認定・専門を取得するメリットが明確でない… 以下同様意見 15件

自己研鑽のきっかけとしてはよい… 以下同様意見 8件

仕事をしていくうえでメリットが多くあれば積極的な参加がでてくると思います… 以下同様意見 6件
制度の社会的な認知度が低く、資格を取得しても給与などに反映されないことがやや難点… 以下同様意見 6件

自己満足に終わらないように… 以下同様意見 4件

医師制度の様な本当の認定・専門性を確立していただきたい… 以下同様意見 3件

専門理学療法士を取ることで、診療報酬を変えてほしい… 以下同様意見 3件

専門以外のことは出来ない理学療法士が増えることに懸念も感じる… 以下同様意見 2件

2. 認定・専門理学療法士を取得するメリットについての回答

専門・認定理学療法士を取得するメリットが分からないと言った意見が多く寄せられています。現状では、明確なメリットはないと言えるかと思います。しかしながら、協会は、「医療広告ガイドライン」に準じた「専門性資格認定団体」として認可されることを目標に制度化しております。これが認可されると、患者様やその御家族様あるいは住民自身が自分の病状等に合った適切な医療機関を選択することが可能となるように、患者等に対して必要な情報が正確に提供され、その選択を支援する観点から、広告が可能となります。具体的には、「〇〇病院 神経理学療法専門理学療法士がいます」と広告ができ、患者数が増加する可能性があります。また、看護協会のように、診療報酬に反映できると更にメリットが高いと思います。県士会として、そのように進むように協会に要望していきます。

研修費用が高い、若い療法士でも参加できるような料金設定にしてほしい… 以下同様意見 7件

研修開催場所を増やしてほしい、名古屋の講習会があると助かります… 以下同様意見 5件

子育て中だと、学会や研修会の参加がしにくく、ポイントがとれない… 以下同様意見 5件

愛知県で行われている専門領域の勉強会が少なく、参加出来ない… 以下同様意見 3件

職務形態・勤務地によっては受けづらい環境ができてしまう… 以下同様意見 3件

3. 開催場所についての回答

必須研修会は、協会が主催しており、愛知県での開催が少ない現状です。愛知県でも開催できるように協会に働きかけていきます。

PT協会以外の学会で発表または参加した場合のポイントが少なすぎる、単位認定の基準に関して納得しかねる
… 以下同様意見 3件

取得単位数が多い…

取得すること自体を手間と考えて取得しようとしにくい人も多いと思う… 以下同様意見 2件

早く医療広告ガイドラインに認められ、病院関係者や患者様へ認識が広まってくると、より理学療法士が働きやすい環境になり良いと思います…

4. 単位認定についての回答

協会は、「医療広告ガイドライン」に準じた「専門性資格認定団体」として認可されることを目標に制度化しております。したがって、ポイント取得が容易ではないかもしれませんが、ご理解をお願いします。

*** 初期の頃の免許取得者は、もっと後生の待遇面を理解し、改善できるように動いて欲しい。また、理学療法自体が医療ではなく、介護・福祉の分野へシフトしすぎて、『治療者』としての職域ではなくなってきているのが懸念される。家族でも看護師でもだれでも出来るような『訓練』しかないPTが多く散見され、専門職であることを忘れさせられる。いまいちど、理学療法の職域の見直しをし、その教育を徹底してほしい。**

→私たちの仕事について、専門職であることは重要なことです。私たちの専門性を考えることと共に、社会の現状を把握し、そのニーズに答えるようにして、柔軟な対応をしていくことも必要ですので、専門性を大切にしながら、変化に対応することが必要だと思います。

*** 診療報酬改定などの最新情報についても看護師会やマッサージ師会などに内容に乏しく比べ非常に遅い。**

→ご意見ありがとうございます。報酬に関わる最新情報につきましては、確実なものを出すことが重要ですので、少し遅れ気味な点は否めないと思います。今後はもう少し方法を検討したいと思います。

*** 妊娠中も働きやすい制度をお願いします。（産休中は施設基準を満たせないなど）**

→これはそれぞれの事業所の努力も必要になります。制度を変えて対応するためには、大きなハードルがあると思います。近い将来、会として何らかの対応を検討する予定です。そして、解決には多くの力が必要だと思いますので、役員のみならず、男女を問わず、皆さんの力を貸していただきたいと思います。

*** 託児付きの研修会をぜひ企画していただきたいです。こどもの育児中ですが研修会等に参加して自己研鑽を続けていきたいと考えております。**

→託児所については、今後理事会等で議論し士会員の皆様が参加しやすいものに改善していかなければならないと思っております。

*** 県士会が発端となって勉強会や講習会をやって欲しいです。勉強会や講習会のお金が高く、それで行けない人や聞きたいけども行きづらくなる人はたくさんいると思います。それを県士会が低価格で担って行けば会員数の増加や県士会活動の理解へつながると思います。** … 以下同様意見 4 件

→研修会のテーマについては、県内の講師にとどまらず幅広く検討し、また、テーマも検討して選定しております。まだ十分にすべての分野のテーマにまで及んではおりませんが、ご意見を参考にさせていただきたく思います。参加費については、理事会で検討しておりますが、自己のキャリアアップという考え方や、士会員の育成の援助という点で、有料化にするか、無料化のままにするのか？意見を集約しているところです。

HP やニュースの勉強会の告知が締切間際や終了しているものが多いので、更新をしていただくと助かります。

→先日、両法人の HP リニューアルを行いました。情報のアップにはできる限り迅速に対応するように努めます。

*** クリニック勤務の理学療法士の地位向上のためのノウハウや運営に関する情報、保険制度の見直しに関する情報などが知りたいです。**

→愛知県理学療法学会の保険部のQ&Aにはクリニックの会員が来られ、運営に関する相談もあります。機会は少ないですが、今後も開催する予定ですので、お越しいただければと思います。

*** 臨床現場（特に新人）の教育と統率する主任の教育を図らないと、PTの職域を自ら放棄しているようではない。**

→ご意見ありがとうございます。愛知県理学療法士会では業務推進部において管理者の教育にも取り組んでおります。また、協会でも取り組んでおりますが、ぜひ具体的なご意見をさらに頂き、一緒に考え活動できれば幸いです。

*** 山口議員（それに代わる人でもいいのですが）をもっと支援すべきだと思う。**

→山口先生は理学療法士から初の国会議員になられた方です。国政に現場の声を届け、私たちの地位向上に貢献されました。リハビリテーション組織の代表として国政に送り出すために、支援はもっと広げていくべきだと思います。これからも応援していきましょう！

*** 役職を長く続ける人も必要ですが、新しい人の登用も実施して、循環も必要だと思います。そのバランスをとるのは、難しいと思いますが、これからさらに大きくなる団体として期待しています。**

→たしかに次世代を担う人自らがどうあるべきか考えていくためにも新しい人材は必要です。気後れすることなく進んで役員立候補していただけるような雰囲気は必要だと思っています。今どういった活動がなされているのか、未来にも有用といえるのか、こういったことに対する若い先生方の考えはぜひとも取り入れていきたいものです。現状の活動を知っていただくためにも、愛知県理学療法学会大会にご参加いただき、愛知県理学療法士会やNPO法人愛知県理学療法学会の活動展示をご覧下さい。そして若い方々の積極的な運営参加を切望しています。

*** 冊子の配布は施設ごとでよい。一施設に何セットも送付されても経費の無駄としか感じない。経費の流れがわかりにくい。**

.. 以下同様意見 2件

→ご意見ありがとうございます。ご指摘のように一般会員の皆様にとっては無駄と感じられることがあると思います。また、一方で職能団体として、理学療法士のこれまでに果たしてきた役割や社会的な貢献などについて社会にアピールするということが必要な場合もありますので、今後も経費の使い方につきましては費用対効果を慎重に検討し、会員のみなさまへより多くの価値を還元できるように留意して運営に望みたいと思います。ご理解ご協力のほどよろしくお願いたします。

* アンケートに関する情報をできるだけわかりやすく広報し、多くの PT に答えていただくシステムを再検討する必要がある。

* 今時パソコンでのアンケートは当たり前だと思いますが、アナログ人間としては職場でもパソコン操作に四苦八苦しているのにこのようなアンケートはとても面倒くさい。

→ご意見ありがとうございます。このアンケートへのお願いは事前に士会ニュースで告知し、DM も発送しております。さらにブロック局を通じて、また施設アンケート督促の際にもお願いして、ようやく回答率 12%程度になりました。Facebook や Twitter など活用した方がよいのですが、もっと効果的に周知できる良いアイデアがございましたらご提案いただきたいと思います。

試験的に今回の会員個人アンケートは Web を採用しました。紙ベースの調査と比べ、経費を半分程度に抑えることができました。また、白書の冊子は会員には配布せず、士会ホームページで自由に閲覧できる形にする予定です。今後は白書に限らずホームページをはじめ、IT 環境の整備も検討していきます。加えてパソコンが苦手な方のためにもアクセスしやすい環境づくりに努めます。